



ちいさなちいさな めにみえないびせいぶつのせかい

ニコラ・デイビス／文 エミリー・サットン／絵
おち のりこ やく でがわ ようすけ かんしゅう
越智 典子／訳 出川 洋介／監修
ゴブリン書房 Eサ

わたしたち ^{そんざい} 私達のまわりに存在している、目には見えない微生物。目には見えないけれど、とっても大切で重要な役割 ^{やくわり} をもっています。小さな子どもにもわかりやすく伝える科学絵本です。



青梅のむかし話

青梅市教育委員会／編 青梅市教育委員会
L388.1 00

青梅の地名の由来として語り継がれている「将門の梅」や塩船観音寺を開山したといわれる「八百比丘尼」のおはなしなど青梅で語り継がれてきたむかし話が六十五話収録。青梅ゆかりのむかし話を次の世代につないでいこう。



ライオンのひみつ

マーガレット・ワイルド／文
リトバ・ポウティラ／絵 木坂 涼／訳
国土社 Eボ

図書館の入り口に座っている、石でできた立派なライオン。物知りガーゴイルの言うことには、石でできた動物も一度は動く事ができるというが。ライオンは本当に動く事ができるのでしょうか…。



うみべの文庫 ～絵本がつなぐ物語～

ほりごめ かおる ちょ 堀米 薫／著 文研出版 016 本
はせがわ 長谷川ゆきさんという女の人が、自分の病気や東日本大震災を乗り越え「うみべの文庫」を開き、そこでつながった沢山の人の、もの、こと。そのまん中には絵本がありました。ノンフィクション（本当にあった）おはなしです。



いのうえ ^{にほんこくけんぽう} 井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法
いのうえ ひさし／文 いわさき ちひろ／絵
講談社 323 イ

103条ある日本国憲法の中でも「前文」と戦争について書かれた「第9条」を小学生にもわかるように説明した文章に、いわさき ちひろさんの絵を添えて紹介しています。「平和」の大切さがわかる1冊です。

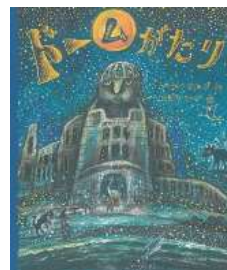


6この点

点字を発明したルイ・ブライユのおはなし

ジェン・ブライアント／文
ボリス・クリコフ／絵 日当 陽子／訳
岩崎書店 Eク

5歳で失明してしまったルイが一番やりたかったことは、本を読むこと。6この点をゆびでさわって読む方法「点字」を発明したルイ・ブライユの感動的な物語。



ドームがたり

アーサー・ビナード／作 スズキ コージ／画
玉川大学出版部 Eス
広島市の「原爆ドーム」を知っていますか？
1915年にできた「広島物産陳列館」を

今ではみんながそう呼びます。「ドーム」が見てきた広島を、原子爆弾の恐ろしさを被爆したドーム自身の言葉で語り伝える物語。



オリンピック・パラリンピックにつくした人びと

小峰書店 全6巻
オリンピックを復活させ、その開催に力をつくした、近代オリンピックの父・クーベルタンをはじめとする、オリンピック・パラリンピックの歴史を6人の生涯をもとに紐解こう。

近代オリンピックの父「クーベルタン」 日本のオリンピックの父「嘉納治五郎」
日本のパラリンピックの父「中村裕」 日本人初のオリンピック選手「金栗四三」
日本人初の女性オリンピック選手「人見絹枝」
1964東京オリンピック招致に活躍「田畑政治」 シリーズ全6巻

このほん しってる？

しょうがく
5・6
ねん

おうめしちゅうおうとしょかん へんしゅう はっこう
青梅市中央図書館 編集・発行 2019・7





キワさんのたまご

うさみ まきこ ふじわら
宇佐美 牧子／作 藤原 ヒロコ／絵

ポプラ社 913 ウ

キワさんのたまごは「まぼろしのたまご」とよばれている。サトシは両親のために、このたまごを手に入れようと考えた。でも、キワさんはそう簡単にはたまごをくれないんだ。



林業少年

ほりこめ かおる
堀米 薫／作 スカイエマ／絵

新日本出版社 913 ホ

代々山持ちのおおさわ家の長男・喜樹は祖父・庄蔵の木材取引の様子や百年杉の伐採を行う姿をみて林業の良さと大変さを知る。林業を通して“家”や“家族”を見つめ直す物語。



牙王物語(上)(下)

とがわ ゆきお ちよ
戸川 幸夫／著 国土社 913 ト

キバと名付けられたおおかみと、早苗という少女が、共に成長しながら絆を深めてゆく物語。キバと早苗を取り巻き、次々に振りかかってくる困難をどう乗り越えてゆくのか。長編だから描ける感動の物語です。



だれも知らない小さな国

さとう さとる／作 むらかみ つとむ え
佐藤 さとる／作 村上 勉／絵

講談社 913 サ

女の子がなくなしてしまった運動靴をさがしに、小人が住んでいるといわれる山に向かったぼく。小川におちていた運動靴のなかには小指ほどの小さな人たちがいて、こちらに手をふっていたのです！



ゆかいな床井くん

ともし しろこ／著 講談社 913 ト

となりの席の床井くんは「いま、ウンコしてきたんだ」とか「おれはロングロングアゴー（あご）」とか、ふつうに言っちゃう男子。でも、自分の気持ちに正直で、みんなをゆかいな気持ちにさせてくれる、すてきな男の子なのです。



けもの 奏者 1～4

うえはし なほこ
上橋 菜穂子／作 講談社 913 ウ

けっして人に馴れない獣とともに生きる、宿命の少女・エリン。動植物への関心の高さや音感の良さ、物事を観察する能力にすぐれているなど、エリンには生まれつきの才能があった。やがて王獣の医術師をめざす物語。



まど・みちお詩の本

まいさん 100歳100詩集

まど みちお／著 伊藤 英治／編

理論社 911 マ

誰でも一度は聞いた事のある『ぞうさん』他、六つのテーマ別に100の詩があります。あなたのお気に入りは何ですか？



ピカピカ俳句

こころをピカピカにする、親子で読みたい美しいことば

さいとう たかし ちよ おおつか
齋藤 孝／著 大塚 いちお／絵

パイインターナショナル 911 サ

五・七・五の俳句が春夏秋冬の季節ごとに約50句紹介されています。訳や説明がとてもわかりやすいので、あなたのお気に入りの句を見つけてみてください。



坂の上の図書館

いけだ ゆみる／作 はじり としかど
池田 ゆみる／作 羽尻 利門／絵

さ・え・ら書房 913 イ

小学五年生の春菜が暮らすことになったのは、自立支援センター「あけぼの住宅」。隣には市民図書館があり、春菜は初めて図書館に行った。そこで出会った友人や図書館の人や本との出会いが、春菜をゆっくりと成長させていく。



ローワンと魔法の地図

エミリー・ロッダ／作 さくま ゆみこ／訳

さたけ みほ
佐竹 美保／絵 あすなろ書房 933 ロ

ある日、リンの谷を流れる、川の水が止まった。家畜のバクシャーは川の水しか飲めず、このままでは死んでしまう。谷に住むローワンは、竜が住むという魔の山へ、仲間と旅立った。彼らを待ち受けるものは…。



マチルダはちいさな大天才

ロアルド・ダール／作 みやした みねお やく
宮下 嶺夫／訳

クエンティン・ブレイク／絵 評論社 933 ダ
マチルダはひとりで字を覚え、4才で図書館の本をすべて読んでしまう天才少女。

でも両親はマチルダを無能な「かさぶた」あつかい。小学校の女校長は生徒たちをにくむ怪物。ただひとりの理解者、やさしいハニー先生の危機に立ち向かったマチルダは？



星の王子さま

サン=テグジュペリ／作 ないとう あろう やく
内藤 濯／訳

岩波書店 953 サ

飛行機が故障してしまった飛行士は、砂漠で王子さまに出会います。王子さまは、飛行士にたくさんのはなしをするのでした。

「かんじんなことは、目にみえないんだよ」
大人になったら、ぜひもう一度、読んでほしい本です。